

# ELMO

デジタルレコーダー EDR-MVシリーズ

## EDR-MV-41/81/161

### オペレーションマニュアル

## 目次

### I 本体起動・終了

### II ライブ画面

### III 検索再生

### IV. コピー(バックアップ)

### V. バックアップファイルの閲覧

## I 本体起動・終了

### 1.起動と終了

#### (1) 起動

電源アダプタをレコーダーに接続すると、起動画面を表示した後、映像が自動で表示されます。(初期設定は自動ログイン)

映像が表示された後、何かの操作を実行するとログイン画面が表示される場合がございます。その場合はユーザIDを選択し、パスワードを入力して「確認」をクリックします。パスワードはバーチャルキーボードを使って入力します。

初期設定は、ユーザーID : **ADMIN**、パスワード:**1234**です。



入力が完了したら確認をクリック。

#### (2) 終了

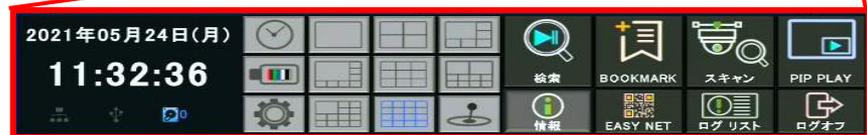
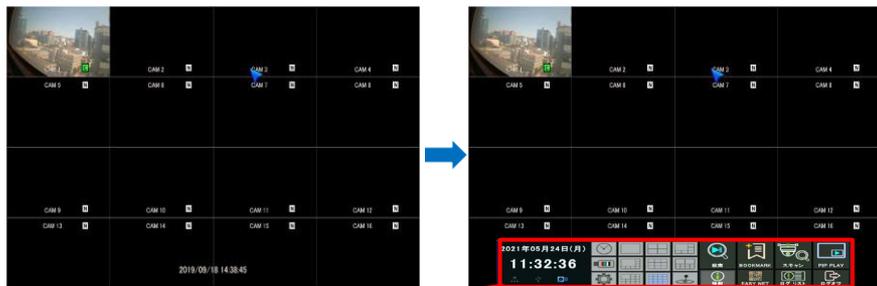
DVRの電源を切るときは、マウスのカーソルを画面下に移動してタスクバーを表示させます。タスクバーの「ログオフ」をクリックして、「シャットダウン」をクリックします。パスワードを入力する画面が表示しますので、ユーザIDを選択し、パスワードを入力して「確認」をクリックします。画面中央に「SYSTEM READY TO BE TURN OFF」が表示されましたら電源アダプタを取り外してください。



## Ⅱ ライブ画面

DVRを起動するとライブ画面が表示されます。

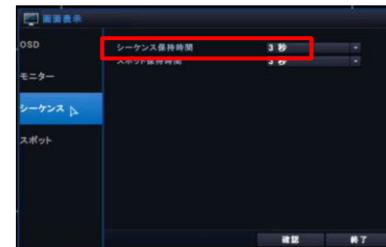
### 1. タスクバーの説明



現在の日付時間 2020年09月22日(火) 11:29:35	ネットワーク 接続中は青色	USB保存装置 接続中は青色	ハードディスク 接続中は青色
時刻変更	カメラ色補正	設定メニュー	分割画面
PTZ	検索/コピー	ブックマーク設定	IP カメラスキャン
PIP表示	ネットワーク ウィザード	ログ表示	ログオフ/ ユーザー変更

### 2.2 ライブ画面の自動切替（シーケンス）

ステータスバーの「設定メニュー」から「画面表示メニュー」に入ります。「シーケンス」を選択すると、画面自動切替(シーケンス)の保持時間の設定ができます。



### 2.3 画面の拡大（デジタルズーム）

マウスのドラッグ動作でデジタルズームを制御できます。

[マウスドラッグを使ったデジタルズーム]



単一画面表示状態で、マウスの左ボタンを押したまま希望する領域をドラッグすると、選択された領域に対して拡大した映像を表示します。拡大表示状態でマウスをクリックすると、元のサイズでの表示になります。

- デジタルズーム機能は、リアルタイム監視画面と再生画面で使用できます。
- デジタルズームは単一画面表示状態で使用可能です。

# Ⅲ 検索再生

## 1. 検索の開始

ライブ画面の下端のステータスバーで、「検索」をクリックして、検索・再生モードに移行します



## 2. 検索再生時の画面表示と操作

検索再生画面の機能とメニューは次の通りです。



①検索 HDD  
検索する HDDタイプを選択します。

- ▶録画 (R) : 録画で設定されているHDDを検索する。
- ▶ミラー (M) : ミラーリングで設定されているHDDを検索する。



②カレンダー  
検索する日付を選択するカレンダーを表示します。  
該当日付に録画データがある場合、明るい青色で表示されます。録画データがある日付を選択すると、その検索結果を時間単位で時間表示エリアに表示します。



③再生画面分割モード変更  
画面表示の分割数を設定します。



④PIP表示  
再生画面でライブ画面にPIP表示をします。



「」ボタンでイベント録画のみを時間軸に表示。



⑤再生制御  
検索画面の映像表示窓で、再生映像の再生速度等を制御します。



⑥現在の再生時間  
現在の再生時間を表示します。そして、右側の上・下ボタンを使用して目的の時刻を検索することができます。



- ⑦カレンダー検索モード  
カレンダー検索モードで録画データを検索します。



- ⑧パノラマ検索モード  
目的のチャンネルを選択し、30枚の時分秒単位のパノラマ検索をします。



- ⑨スマート検索モード  
希望するチャンネルを選択し、指定した領域に動きのある区間を検索します。



- ⑩イベント検索モード  
希望するイベント条件で検索します。



- ⑪Bookmark 再生  
Bookmark 指定した区間を検索します。



- ⑫Bookmark 追加  
再生中に必要な区間をBookmarkに指定します。



- ⑬USB ストレージ再生  
USB保存デバイスにコピーされた\*.dvr形式のバックアップデータを再生します。



- ⑭録画データコピー  
録画データをUSB保存装置にバックアップします。

## ⑮録画タイムテーブル



- ・マウスホイール(上・下)動作で録画テーブル間隔の調節ができます。
- ・ ◀▶ : 録画テーブル時間移動
- ・ 黄色の垂直線をマウスドラッグ&ドロップし、希望する時間の再生を開始します。

## IV コピー(バックアップ)

HDDの録画データをUSBメモリにバックアップすることができます。  
バックアップの手順は以下の通りです。

- 1、検索再生画面を起動します。
- 2、[コピー] をクリックしてバックアップメニューを起動させます。



### -3、バックアップメニューの説明

バックアップメニューは次の通りです。各項目を上から順番に設定することで、HDDの録画データをUSBメモリにバックアップすることができます。



- ① チャンネル選択：録画したデータからバックアップするチャンネルを選択します。
- ② 開始：録画したデータのバックアップ開始時間を設定します。
- ③ 終了：録画したデータのバックアップ終了時間を設定します。
- ④ デバイス：バックアップするデータを記録する保存装置を選択します。
- ⑤ タイプ：保存形式を選択します(\*.dvr/\* .avi)。  
専用フォーマットの.dvrを選択した場合、PC用の再生プレイヤーもコピーされます。また、.dvrデータはレコーダー本体でも再生可能です。
- ⑥ TAG：バックアップするデータが記録されるファイル名を指定します。
- ⑦ パスワード：録画データ閲覧用のパスワードを設定します(任意)。
- ⑧ コピースタート：選択した時間と条件でバックアップを開始します。  
画面右上に進行状況が表示されます。

※USBメモリにバックアップが正常に行われない場合、ディスクメニューのフォーマットメニューを使用してUSBメモリをフォーマットします。  
※バックアップの安定した動作を確保するために、1度のバックアップ容量を約4GB以内にすることをお勧めいたします。

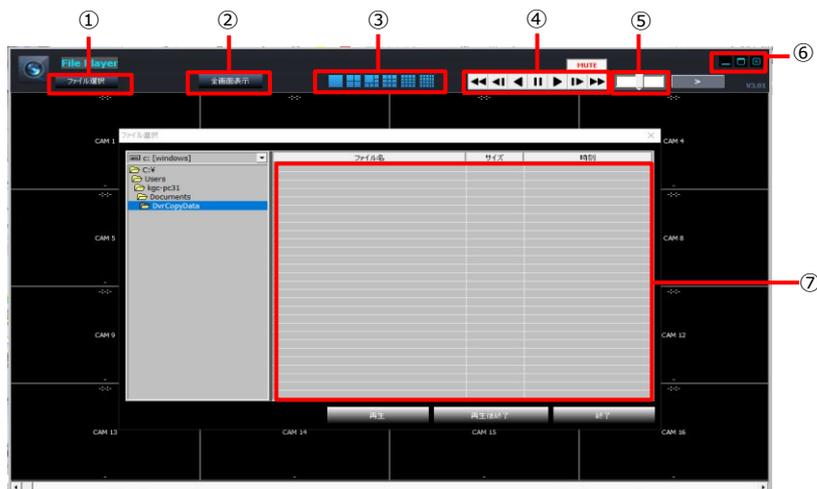
## V バックアップファイルの閲覧

USBメモリーにバックアップした.dvrデータをPCで再生します。  
再生の手順は次の通りです。

- 1、PCのUSBポートにバックアップデータのあったUSBメモリーを挿入します。
- 2、エクスプローラでメディアを開くと、再生プレイヤー(FilePlayer.exe)とバックアップしたデータがあります。  
バックアップデータの名称は、  
【「TAG」(p.10⑥)で指定した文字列 + バックアップ開始日時]になっています。



- 3、再生プレイヤー(FilePlayer.exe)をダブルクリックすると、再生画面が起動します。



〈メニューの説明〉

- ① FILE SELECT :ファイルを選択します。
- ② FULL SCREEN :全画面で表示 (ESCキーで戻る)
- ③ 分割画面選択

 : 選択したチャンネルを単画面で表示

 : 分割画面で表示

- ④再生画面の調整

 : 巻戻し

 : 低速逆再生

 : 逆再生 (1倍速)

 : 一時停止

 : 再生 (1倍速)

 : 低速再生

 : 早送り

- 高速再生速度 :x2, x4, x8, x16,x30, x60, x120
- 低速再生速度 :1/2, 1/4, 1/8, 1/16, 1/30, 1/60, 1/120

⑤マウスのホイールを利用して再生速度を調整できます。

- ▶マウスのホイールのアップ :逆再生
- ▶マウスのホイールのダウン :再生
- ▶バーの真ん中クリック :1倍速で再生
- ▶バーの右半分クリック :高速再生
- ▶バーの左半分クリック :高速逆再生

⑥画面のサイズ



: 最小化



: 最大化

: 終了



⑦ファイル選択 :表示するファイルを選択します。

※.aviデータの場合は、.aviデータに対応したプレイヤーで再生することが可能です。